

研究課題：酸素飽和指数（OSI）を使用した先天性横隔膜ヘルニアの重症度評価

1. 研究の目的

酸素飽和指数は先天性横隔膜ヘルニアの死亡予測因子として有用であると報告されています。出生後早期の重症度判断として入院後 1 時間以内の酸素飽和指数が有効か、既知の重症度指標と関連があるか評価を行います。

2. 研究の方法

2017 年 3 月から 2023 年 3 月までに先天性横隔膜ヘルニアと診断された患者様が対象となります。

診療録から、横隔膜ヘルニアの予後、呼吸器条件や、酸素飽和度等の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2024 年 11 月（倫理委員会で承認を得られた日）から 2027 年 9 月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテの記載から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）、予後を調べまとめます。画像（個人情報的一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：新生児 医員 齋藤 光里

研究分担者：新生児 科長 清水 正樹

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2028 年 3 月 31 日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）